



今月は、「ある」「ない」についての手話を紹介します。

問い合わせ 障害福祉課(内線 297)

① ある



出した手の平を下に少しだけ降ろす。

② ない／～ない (動詞の否定)



指先を上にした両手の平を開いて前に出し、自分の身体に向けて数回振る。

◆ワンポイント◆

手話は「形・位置・動き」で単語が成り立ち、1つでも違うと別の意味になる場合があります。今月の「ない」は身体に向けて手を動かしますが、外に向けると令和5年11月号で紹介した「不要(～しなくていい)」と読み取られる場合があります。手話を学習する際は、この3つのポイントを意識しましょう。